

2月4日

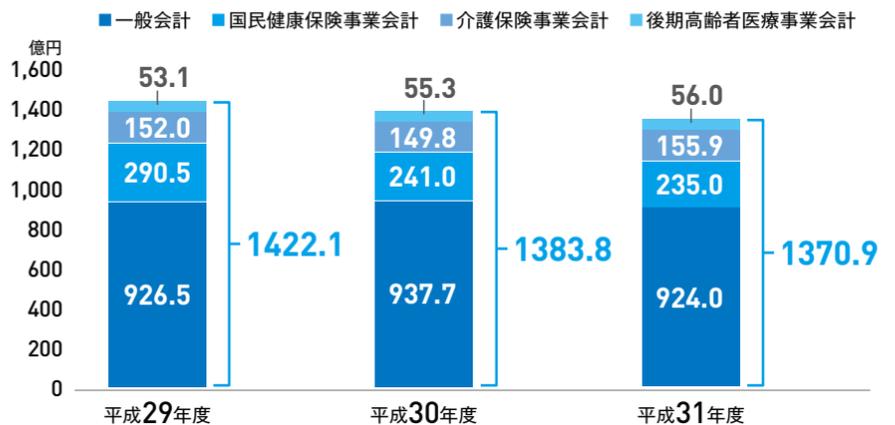
平成31年度(2019年度)当初予算案の 主な事業を発表しました

区は「ちがいを ちからに 変える街。渋谷区」を基本構想の未来像に掲げ、「成熟した国際都市」を目指しています。その原動力となるのが「ダイバーシティとインクルージョン*」の理念です。31年度当初予算案は、誰もが自分らしく生きられる共助社会・共生社会の実現を基本とし、防災・防犯・環境分野に重点を置きつつ、子育て支援・教育・福祉施策の充実、未来への活力と新たな魅力創出につながる街づくりの推進を重点課題として編成しました。 *多様性を受け入れ、エネルギーへと変えていくこと



▲平成31年度渋谷区当初予算案記者会見(2月4日実施)

各会計予算規模推移



福祉分野

あらゆる人が、
自分らしく生きられる街へ。

- 渋谷駅周辺小規模施設(店舗)に対するバリアフリー化推進助成
- 渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツの開設
- 被保護世帯の子どもの将来の自立を後押しする学習支援事業
- ショートタイムジョブ(超短時間労働)の導入支援などによる障害者就労支援・雇用拡大事業

健康・ スポーツ分野

思わず身体を
動かしたくなる街へ。

- オリンピック・パラリンピック関連事業

リアル観戦事業や区独自ボランティア制度などの拡充などにより、渋谷区全域で祝祭感や歓迎ムードを醸成し、選手と来訪者を笑顔でおもてなしする準備を進めます。

防災・安全・環境・ エネルギー分野

人のつながりと意識が
未来を守る街へ。

- 防犯カメラの設置拡充(増設415台、累計911台)
- 公共の場所等の全面禁煙を目指した路上や公園等の喫煙対策
- 木造住宅密集地域における防災性向上のための(仮称)本町地区防災都市づくりグランドデザインの策定

産業振興分野

ビジネスの冒険に満ちた街へ。

- キャッシュレス決済導入促進事業

外国人観光客の受入環境の整備および商店街活性化のため、キャッシュレス決済の導入を促進し、QRコード決済を中心に多様な決済手段への対応を推進します。

空間とコミュニティ のデザイン分野

愛せる場所と仲間を、
誰もがもてる街へ。

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人や高齢者、視覚障害者へも配慮した設計・デザインの公共サイン整備
- 渋谷駅周辺に13基、原宿駅・千駄ヶ谷駅周辺に39基を設置予定

文化・ エンタテインメント分野

あらたな文化を生みつづける街へ。

- 新・渋谷公会堂の開設

区民等から一層利用しやすく、愛される最先端の次世代型公共ホールを目指します。

子育て・教育・ 生涯学習分野

それぞれの成長を、
一生よろこべる街へ。

- 渋谷区子育てネウボラ(子育てステージを通じた切れ目のない支援の推進)
- 全ての妊婦に対する面接を行い、支援プランを作成して出産後の育児支援や心の健康維持を図ります。
- 渋谷区子どもテーブル 世代を超えた交流ができる「景丘の家」オープン
 - 待機児童対策(認可定員436人拡大)
 - より「開かれた学校」を作ることを目指した渋谷区立全小中学校のコミュニティ・スクール化
 - 全ての子どもに「豊かな放課後」を提供する、放課後クラブにおけるクラブ事業の充実

区政運営の あり方

計画の実現と
持続可能な行財政運営

- 区議会のICT化

資料のペーパーレス化による議会運営の効率化などのため、全議員にタブレット端末を貸与し、ツールとして活用します。

※渋谷区当初予算案の概要について詳しくは区HPをご覧ください。



問 広報コミュニケーション課 広報広聴係 (☎ 3463-1287 ☎ 5458-4920)